アニコム どうぶつNEWS
2026年11月号

ねこ に多い病気、そこが知りたい!



膵炎(すいえん)って?

何らかの原因で膵臓に炎症が起きた状態

膵臓は、食物を分解する消化酵素を含む膵液を十二指腸に分泌する役割と、血糖値を調整するホルモンを分泌する役割をもつ臓器です。そこに何らかの原因で炎症が起きた状態を膵炎といいます。激しい症状が出る急性膵炎と、膵臓の働きがゆっくり低下する慢性膵炎があります。

発症要因

中高齢以上の猫で多い疾患ですが、品種や性別による発生頻度の差はあまり報告がありません。感染症や炎症性腸疾患などによる炎症が膵臓へ波及したり、中毒物質や高脂肪分の食事の摂取の他、胆管の奇形などの素因が関与する可能性がありますが、原因の特定は困難です。

主な症状

急性膵炎

●激しく、繰り返し吐く ●元気消失
●何も食べられない ●腹痛のためうずくまる

慢性膵炎

●頻繁に吐く ●下痢 ●脱水
●食欲不振による体重減少 ●活動性が低下する

急性は、食欲不振・元気消失・激しい嘔吐など、明らかな症状が出ます。一方で慢性は、断続的な嘔吐や下痢などの症状が出る場合もあれば、気付いたら体重が減っているなど、ほとんど症状がわからない場合があります。



検査

膵炎は、複数の検査を行って、総合的に診断する病気です。慢性膵炎は高齢になるとリスクが高まるため、7歳を超えたら健康診断の血液検査を受ける際に主治医と相談した上で「猫膵特異的リパーゼ」の検査や、腹部超音波検査などを検討するといいでしょう。

治療法

膵炎には特効薬はなく、症状に応じて点滴、疼痛管理(痛みの緩和)、制吐剤や下痢止めの投薬などの対症療法が一般的。また基礎疾患がある場合はそちらの治療もします。

予防・早期発見のために

日頃から肥満や偏食にならないように注意をしましょう。猫の慢性膵炎は症状があいまいであるため、気がつかずに進行していることがあります。高齢の猫では定期的な健康診断が大切です。慢性膵炎を疑う症状があれば早期に診断し、治療をしていくことが重要です。



雑誌「ねこのきもち」では、健康情報や困りごとなど飼い主さんの「知りたい!」を解決! ●こちらは、掲載した記事を再編集したものです。

アニコム損保ご契約者が
マイページから定期購読を申込むと
2号(2ヶ月分)無料!!



発行元:アニコム損害保険株式会社